

スポーツ・コンベンションセンター設計業務公募型プロポーザル
公開プレゼンテーション アンケート集計結果概要

1 目的

スポーツ・コンベンションセンターについて、県民に関心を持ってもらい理解促進を図るとともに、透明性のある設計者選定を行うため、設計事業者によるプレゼンテーション及び設計審査会の委員によるヒアリングを公開で行った。また、当日の様子はインターネットでライブ配信した。

提案内容等に関する意見を設計審査会による審査の参考とするため、当日の傍聴者とライブ配信視聴者向けに提案内容等に関するアンケートを実施した。

2 結果概要

- (1) 対象 公開プレゼンテーション傍聴者及びライブ配信視聴者
- (2) 方法 県電子申請共同運営システムによる
- (3) 期間 令和8年2月14日(土) 21時まで受付
- (4) 回答数 163人(うち、傍聴者84人、ライブ配信視聴者79人)

3 回答状況

【問1】 性別 (人, %)

性別	男性	124	76.1%
	女性	37	22.7%
	その他	0	0.0%
	回答したくない	2	1.2%
	計	163	100.0%

【問2】 年齢 (人, %)

年齢	20歳未満	6	3.7%
	20代	24	14.7%
	30代	28	17.2%
	40代	30	18.4%
	50代	49	30.1%
	60代	14	8.6%
	70代	11	6.7%
	80歳以上	0	0.0%
	回答したくない	1	0.6%
	計	163	100.0%

【問3】 お住まい (人, %)

住まい	鹿児島市内	87	53.4%
	鹿児島県内(鹿児島市外)	38	23.3%
	県外	37	22.7%
	回答したくない	1	0.6%
	計	163	100.0%

<選択式の設問>

【問4】 スポーツ・コンベンションセンターに期待することを選択してください。該当するものを選択してください。(複数回答)

(人)

県民の健康増進とスポーツの振興に加え、イベントにも有効活用できる施設	113
桜島の景観を望む本港区エリアにふさわしいデザインを備えた鹿児島島のシンボルの施設	139
インバウンドを含めた観光振興や賑わいを創出し、中心市街地への回遊性が高まる施設	76
障がい者や高齢者も安全で利用しやすい施設	72
建築構造や省エネなどの環境性能が優れている施設	72
災害対応機能の分散・強化が図られる施設	78
その他 ※	10

※ その他

- ・ 渋滞問題への配慮
- ・ 県産材の活用
- ・ 今の流行よりも、中長期的な視点を忘れずに検討してほしい
- ・ ランドマーク
- ・ 桜島の眺望を確保
- ・ 天文館とのコラボ、回遊性、アクセス重視
- ・ 桜島の眺めを邪魔せず、シンボルになり得る形の建物になってほしい
- ・ 日常的に賑わう、誰もがふらっと訪れることができる施設
- ・ 桜島の風景や観光資源を活かした集客が望めること
- ・ この場所に体育館のような大規模な施設を作らないこと

<自由記述>

【問5】 提案内容で印象に残った点（132件）

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

1 施設の利用に関する意見

- ・ スポーツ施設としてだけでなく、イベント会場としても使えることがよくわかった。
- ・ 日頃から利用しやすいよう、よく考えられた提案もある。
- ・ 各事業者の提案について、景観に対する配慮はそれぞれ感じられたが、競技者やイベント主催者にとっての施設の使い勝手は、各提案内容の優劣を判断するのが難しかった。

2 景観への配慮に関する意見

- ・ さまざまな角度から桜島が見え、スロープで車椅子やベビーカーでもアクセスしやすい提案もある。
- ・ 桜島の眺望に配慮し、建物を低層・最小化するなど、景観を尊重している提案もある。
- ・ マイアミ通りの景観を重視するなど、景観や周辺に配慮されており評価できる提案もある。
- ・ 屋根の形状が桜島に溶け込み、華美にならず調和が取れている提案もある。
- ・ 建物の配置により、視線の抜けや回遊性を確保している提案は景観・動線両面で評価できる。
- ・ 桜島の雄大さを活かしたデザインは地域の象徴になり得る。
- ・ 桜島の眺望に配慮すべき提案もある。
- ・ マイアミ通りからの眺望を軽視している提案もある。

3 デザインに関する意見

- ・ 桜島との調和を活かしたデザインが多い。
- ・ アリーナ内外から桜島を楽しめる配置、屋根形状、回遊性などが評価できる提案もある。
- ・ オープンで開放的なデザインは地域活性化にも寄与。
- ・ デザインや景観が建設時に提案通りにならない可能性がある提案もある。

4 観光振興や賑わい創出に関する意見

- ・ 周辺エリアとの回遊性がよく考えられた提案もある。
- ・ いずれの提案も、「かんまちあ」の賑わいとの連続性が期待できる。
- ・ 周辺エリアとの一体感を意識した提案がなされていないと感じた。

5 障害者・子育て世代への配慮に関する意見

- ・ スロープで誰でも上に行ける提案は非常に評価できる。
- ・ 日常利用やアクセシビリティを意識した提案もある。
- ・ 障害者・子育て世代への配慮が不足している提案もある。
- ・ 健常者中心の設計になっていると感じる提案もある。

6 災害・防災対応に関する意見

- ・ 災害拠点として現実的で説得力がある提案もある。
- ・ 災害対応が不十分な提案もある。

7 コストに関する意見

- ・ 低層・コンパクトな案は建設コストや維持管理面で現実的。
- ・ 軽量化でコスト削減を意識した提案もある。
- ・ 特殊な構造はメンテナンスコストが懸念される。
- ・ CM方式を導入したとしても、予算超過が懸念される提案もある。

8 維持管理・運営、費用に関する意見

- ・ 運営や維持コストの観点も含めて提案を評価することは重要。
- ・ 降灰などの実務的課題も考慮されており、具体性が感じられる提案もある。
- ・ 施設維持費に不安がある提案もある。

9 その他の意見

- ・ 各提案に独自性があり、鹿児島にふさわしい建築として期待できる。
- ・ 他県のアリーナに似ており、鹿児島の独自性が足りない提案もある。

【問6】 公開プレゼンに対する意見（95件）

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

1 プレゼン内容・説明の印象に関する意見

- ・ 素人にも理解しやすいプレゼンで、内容も充実しており、学びがあった。
- ・ 設計者の熱意や工夫、検討過程等具体的な提案内容が伝わり、理解が深まった。
- ・ 提案者ごとの考え方や背景、地域への配慮が伝わった。
- ・ 複数案を比較でき、各提案の特色が把握できた。
- ・ CM方式やコスト・災害対応も含め、建設までの流れが分かる良い機会だった。
- ・ プロスポーツ運営視点に疑問が残る提案もあった。

2 透明性に関する意見

- ・ 動画配信を含め、公開プレゼンは広く開かれており、好印象だった。
- ・ オープンで公平な審査が行われ、誰でも参加できることが伝わった。
- ・ 審査員の質問や、やり取りを通して、各提案の考え方が理解でき、参加者としての実感が得られた。
- ・ 配信もスムーズで、会場に行けない人も参加しやすく、有意義だった。
- ・ 傍聴者や県民から意見を出せる機会が少なく、仕様書等を定めた県の意見に偏る提案となる懸念がある。

3 県民参加に関する意見

- ・ 県民の意見が反映されるような設計になれば良い。
- ・ 過程を公開することで、自分ごととして総合体育館の整備を考えるきっかけになった。
- ・ 現状は県民参加の余地が少なく、もっと意見を反映してほしい。